

# 第56回全日本こけしコンクール



**内閣総理大臣賞**  
**「直胴細型9.4号」(1部)**  
**平賀 輝幸さん (仙台市)**

5月3日から5日までの3日間、日本最大のこけしの祭典「第56回全日本こけしコンクール」がホワイトキューブで開催された。本市を代表するイベントとして多くの方に親しまれている本コンクール。本年は「市制施行60周年」の節目の年での開催で、県内外から約4万人が会場に訪れにぎわいを見せた。

今回のコンクールには、伝統こけし、新型こけし、創作こけし、木地玩具、応用木製品の5部門に全国から166人の工人が836点を出品。4月25日、元日本玩具協会専務理事の岡野泰三さんと審査員18人が、こけしの表情やデザイン、創造性などを審査した。最高賞となる内閣総理大臣賞には、平賀輝幸さんの山形作並系伝統こけし「直胴細型9.4号」が選ばれた。審査委員は平賀さんの作品を「表情が可憐であり、見る者の心を引き付ける魅力がある。胴の下部を少し細く仕上げた工夫や胴の上下に配した細い回クワ線は、作品全体を調和させており印象深い作品」と評した。

5月1日に行われた授賞式で平賀さんは「なかなか思い通りの作品ができません、つらい時もありましたが、家族の支えがあり続ける事ができました。家族、そして応援して下さった皆様



1\_経済産業大臣賞を受賞した佐藤保裕さん 2\_初出品で東北電力賞を受賞した富塚由香さん 3\_山崎パニラ賞の最優秀賞を受賞した阿部さんと山崎パニラさん 4\_受賞作品を鑑賞する来場者たち 5\_実演販売を行う工人たち 6\_ニホンジンの3人が絵付けをしたこけし 7\_一番のりを果たした新潟県上越市の山川洋一さんに風間市長から証明書と記念のこけしが贈呈された 8\_コンクール期間中も先輩工人から指導を受ける新人工人2人

■ 市内在住の受賞者一覧(敬称略)

賞名	作品名	受賞者名
経済産業大臣賞	重菊 12号 (1部)	佐藤 保裕
国土交通大臣賞	想い(皮付二本組) (2部)	加賀沼昌行
中小企業庁長官賞	望郷 (2本組) (2部)	高橋とし子
秋田県知事賞	10号 (1部)	新山真由美
仙台市長賞	103号 (1部)	新山 吉紀
札幌市長賞	競馬 (4部)	新山 学
米沢市長賞	今三郎型 8.5号 (1部)	佐藤 英雄
前橋商工会議所会頭賞	燦 (2部)	渡邊 邦彦
福島商工会議所会頭賞	寒風 (2部)	加賀沼勝子
朝日新聞仙台総局長賞	8.3号 (1部)	鎌田 孝志
仙台放送賞	8号 (1部)	鎌田美奈枝
東日本放送賞	枝梅 10号 (1部)	佐藤 早苗
七十七銀行賞	コントラスト (2部)	佐々木美穂
東北電力賞	10号くびれ (1部)	富塚 由香

のおかげで受賞できたと思っております。これからも、こけし作りに精進し頑張っ参りたいと思います」と受賞者を代表して謝辞を述べた。

内閣総理大臣賞に次ぐ経済産業大臣賞には、市内在住の、遠刈田系伝統工人の佐藤保裕さんが受賞。佐藤さんは「今年が良い作品ができました。これから精進して、さらに良い作品を作りたいです」と感想を話し、今回のコンクールでデビューした弥治郎系伝統工人2人のうち、東北電力賞を受賞した富塚由香さんは「来年も入賞できるように頑張ります」と今後の抱負を語った。

また、今年で3回目となった、山崎パニラさんが市内小学6年生が絵付けしたこけしを審査する「山崎パニラ賞」の最優秀賞には、大鷹沢小学校の阿部こころさん、優秀賞には、白石第一小学校の齋藤雅仁さんと、大平小学校の菊地禎くんが選ばれた。会場では、3日間にわたり多彩なイベントが開催された。恒例の伝統工人による実演販売では、多くの人たちが訪れ、工人たちとの交流を楽しんだ。さらに、こけしの絵付け体験や白石の特産品を集めた地場産品まつりで地元の味覚を味わうなど、訪れた人たちは春の祭典を楽しんでいた。